

北風と太陽

香芝市立香芝北中学校通信

NO.43 2024.2.26 文責 上谷基博

いよいよ学年末試験ですね。

早いもので2月が終わろうとしています。すでに今年度も残すところ後1ヶ月になりました。まだまだ寒いですが、確実に春が近づいてます。

先日1月の給食残食率が給食センターから届きました。何と1.5%!!4月について低い数値です。スゴいわ。本当にしっかり食べていますね。

全学年とも1%台でした。学校として取り組めていることをとても嬉しく思います。3年生は残り数回しか給食がありませんので、しっかり味わってくださいね。

さて、1・2年生は水曜日から今年度最後の定期テストですね。木曜日の放課後、学習部を覗いてみました。ワーク等に取り組んでいる人が多かったかな。何人かの先生も教えに来てくださいましたね。

この3連休、めっちゃ頑張りましたか！計画通りに進んだかな。今回のテストが1年間の集大成になるよう、しっかりと準備して受けてほしいと思います。テスト当日良いコンディションで受験できるように、体調管理にも気を下さないね。「しっかり食べ、しっかり寝る」ことを実践しつつ、効率よく学習を進めてほしいです。ダラダラとか、何をやるか決めないで、手当たり次第あれこれやるのは良くないです。きちんと決めて集中してやるようにね。

本気の大人たちが一生懸命考えてくださってます！

ちょっと前になりますが、2月7日(水)の午後、書写室で香芝北中学校コミュニティ協議会の会議を行いました。集まった大人の数約30人。地域住民の方々、PTA役員の方々、本校の先生方がこの1年間の活動を振り返りながら、来年度につなげるために活発な話し合いを行ってくださいました。直接かどうかは別として、本校の教育活動にはいろんな方々が関わって下さっています。「この学校がもっと良くするには何ができるだろうか」。3つのグループに



分かれて一生懸命話し合ってくださいました。その様子に校長としてとても頼もしいものを感じました。

その中で…。

生徒会担当の先生から、会議の出席者の方々にこんな質問がありました。「うちの生徒は普段地域であいさつをしていますか？」実はこれ、生徒会の役員メンバーが知りたがっていたことのよう



す。インタビューとともに考えていたようで、ちょうど良い機会になりました。「よくしてくれますよ。」「時間にもよるかな。8時10分ぐらいまでに通る子はするかな。」いろんな意見が出ました。さあ、キミはどうですか！あいさつの大切さは今さら言うまでもないね。上谷も毎朝校門でみなさんとあいさつを交わしていますが、人によるね。コロナの影響

かちゃんと声を出す人が減ったのが残念です。ちょこんと首だけ下げる人が多いかな。

「まずは、あいさつから」社会でもよく言われることです。決して強制はしないけど、生き方としてきちんと相手の目を見て「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と言える生徒であってほしいな。

進路が決まった3年生のみなさんへ

先週末まで約100人のみなさんが決定しましたそうです。まずはおめでとうございます。良かったですね。4月からの自分の行き場所が定まりましたね。そんなみなさんに一言。進路決定は「終わった」のではなく「新しい生活が始まる」ということ。4月良いスタートを切るために今は今を大切にすること。いい加減な生活は厳禁です。これまで以上に規則正しく生活すること。

授業もしっかり受け、クラスでの役割もきちんと果たす。卒業までに可能な限り学校に貢献する。これから進路決定に向かう友人にパワーを送り続ける。そういうことができる人であってください。

